

**Allegro assai**  
Baritone Solo

*f* Freu - de, Freu - de, Freu - de, schö - ner

*f* Freu - de! Freu - de!

**Allegro assai**

Ob. I  
Clar. *dolce*  
Fag.  
Cor.

Archi pizz. *pp* Clar. I

Göt - ter - fun - ken, Toch - ter aus E  
Wir be - tre - ten feu - er - trun - ken,

Himm - li - sche, dein Hei - lig - tum!  
In - ne - rau - ber bin - den wie - der, was die Mo - de

streng ge - teilt; al - le Men - schen wer - den Brü - der, wo dein sanf - ter Flü - gel weit.

*cresc.* *p* Legni

# 第九



## 2024春日井市民第九演奏会

とき **2024.12.1** (日) 15時開演      ところ **春日井市民会館**

主催／春日井市、春日井市教育委員会、公益財団法人かすがい市民文化財団、春日井市民第九演奏会実行委員会

共催／春日井市交響楽団、春日井市民第九合唱団

後援／中部大学、中日新聞社





2024春日井市民第九演奏会実行委員会名誉会長

春日井市長 石黒 直樹

本日は、2024春日井市民第九演奏会にお越しいただき、誠にありがとうございます。

年末の恒例行事として、今年で31回目となるこの演奏会を開催できますのも、多くの市民の皆様方のご支援、並びに春日井市民第九合唱団と春日井市交響楽団をはじめとする関係者の皆様方のご尽力の賜物と心から敬意と感謝を申し上げます。

今回も、音楽監督・指揮者には井村誠貴氏を、ソリストには国内外で活躍する実力派の方々をお迎えしました。また、今回は初めてセミクラシックの合唱曲を演奏いたします。ホルスト作曲、組曲「惑星」より歌手の平原綾香さんが「ジュピター」として発表した作品をアレンジし、合唱とオーケストラのコラボレーションでお届けします。今日の演奏がご来場の皆様の心を魅了し、素晴らしい演奏会になることを大いに期待しております。

この年の瀬のひとときに、壮大なオーケストラと会場に響き渡る華麗な歌声が彩る第九の調べを、どうぞ心ゆくまでお楽しみください。



2024春日井市民第九演奏会実行委員会会長

中部大学長 竹内 芳美

本日は「2024春日井市民第九演奏会」にお越しいただき、誠にありがとうございます。1993年に春日井市制50周年を記念して始まったこの第九演奏会も31回目を迎える事ができました。多くの方々のご協力と熱意に支えられ、こうして開催できることを心から嬉しく思います。

今回も音楽監督・指揮者には井村誠貴氏をお招きし、英国の作曲家G・ホルストの代表作、管弦楽のための組曲「惑星」から「木星」をお届けします。組曲の中でも「快樂をもたらす者」として最もよく知られており、歌手の平原綾香さんが「Jupiter」として歌い上げたことで、誰もが一度は耳にしたことがある大変馴染みの深い曲だと思います。

そして、年の瀬を締めくくる、ルードヴィッヒ・ヴァン・ベートヴェン作曲の交響曲第9番「第九」では、4人のソリスト、飯田みち代、相可佐代子、安賜勳、榎貴志の各氏と共に合唱をお届けします。この「第九」は平和と希望、そして人と人との絆を象徴する不朽の名作です。人々を喜びで包み込み、魅了してやまないこの「歓喜の歌」が心に響き渡り、より一層絆を深め、共に成長していけることを願っています。



2024春日井市民第九演奏会

音楽監督 井村 誠貴

《春日井市民第九・・・新時代へ》

昨年30回の記念公演を終えた春日井市民第九演奏会。31回目の本公演では、これまで合唱団では取り上げてこなかった「セミクラシック」の合唱曲、ホルスト作曲、組曲『惑星』より「木星」に挑戦します。歌手の平原綾香さんが「ジュピター」として発表した作品を合唱用にアレンジし、更にオーケストラとのコラボレーションでお届けします。ご期待下さい！

春日井市民第九合唱団はコロナ禍に於いて出演者が制限されてきました。その後、団員、そして春日井市・中部大学のご尽力をお借りして、本年は160名を超える合唱団員の参加が実現致します。大迫力の歌声に加え、コロナ禍でも「春日井市民第九の灯を消さない!」という強い想いが結集した歌声は、必ずや皆様の心に大きな感動を与えてくれると信じています。人間愛に満ち溢れ、友情、そして共に目指す「理想郷」への想いを馳せるベートーヴェンの第九交響曲。春日井市民の皆様と共に師走のひと時が素敵な時間となります様、出演者一同「一致団結」して演奏会を創り上げて参ります。







# プログラム Program

G・ホルスト 作曲

## 『ジュピター』

※管弦楽組曲『惑星』より木星の主題による

ルードヴィッヒ・ヴァン・ベートーヴェン 作曲

Ludwig van Beethoven (1770-1827)

## 交響曲 第9番 二短調 作品125 「合唱付」

Symphony No. 9 in D minor op.125 "Choral"

- 第1楽章 アレグロ マ ノン トロッポ エ ウン ポコ マエストーソ  
1st mov. Allegro ma non troppo e un poco maestoso
- 第2楽章 モルト ヴィヴァーチェープレスト  
2nd mov. Molto vivace - Presto
- 第3楽章 アダージョ モルト エ カンタービレ アンダンテ モデラート  
3rd mov. Adagio molto e cantabile - Andante moderato
- 第4楽章 フィナーレ：プレストーアレグロ アッサイー レシタティーヴォーアレグロ アッサイ  
4th mov. Finale: Presto - Allegro assai - Recitativo - Allegro assai



### 管弦楽 春日井市交響楽団

春日井市交響楽団は、ベートーヴェンの「第九交響曲」の演奏会を春日井市で開きたいという市民の思いから生まれた「市民が演奏し、市民が聴く」オーケストラです。1990年に創設され、現在、団員は約50名で、毎年7月の定期演奏会と12月の第九演奏会を中心にオーケストラ活動を行っています。昨年の第九演奏会は通算30回目を記念したものでしたが、オーケストラにとって第九は、何度経験しても大変な曲です。今年の第九も団員一同、新たな気持ちで取り組んでいるところです。また、第九に先立って演奏する「ジュピター」は、ホルスト作曲、組曲『惑星』より「木星」が原曲となっていますが、この曲はクラシック音楽の中でも有名で人気のある曲です。演奏する側にとっても楽しみにしている曲であり、皆様にもきっとお楽しみいただけるものと思います。今後も、様々な場面で良い音楽をお届けできるよう努めていきたいと考えていますので、引き続きのご支援をよろしくお願いたします。最後になりますが、第九演奏会の開催に当たり、ご尽力いただきました関係者の皆様にご心より感謝申し上げます。

(団長 後藤 哲也)



### 合唱 春日井市民第九合唱団

春日井市民第九合唱団は、1993年(平成5年)春日井市制50周年記念行事として開催された「第九演奏会」の初演を機に、市民公募により結成されました。それ以来、毎年団員を公募し、12月に開催される市民による手作りの「第九演奏会」に向けて、音楽監督、各合唱指導の先生方の熱心な指導のもと、ベートーヴェン作曲「交響曲第九番二短調作品125」第4楽章「合唱」を歌い続けてきました。今年で31年目(31回)を迎えます。今年度も6月に結団式を行い、前向きに強い気持ちを持った新しい精鋭達も加わり、団員は166名となりました。井村音楽監督の企画が始まった前曲に今年度は新たな挑戦として、管弦楽組曲「惑星」より「木星」の主題による『ジュピター』に取り組み、ハーモニーを大切にしながら練習に励んで参りました。本番では、団員一体となった心からの「歓喜の歓び」歌声・叫びを観客の皆様にお届けし、「今できる最良の第九演奏会」にしたいと考えております。最後に、第九演奏会の開催にあたり、特別なご尽力を賜りました関係各位の皆様にご心より感謝申し上げます。これからも末永くご支援を賜ります様、よろしくお願い申し上げます。

(団長 黒澤 清海)





G・ホルスト作曲／『ジュピター』

※管弦楽曲『惑星』より木星の主題による

## ジュピター、快樂をもたらす者

昨年の記念すべき30回目のコンサートを終え、本年からは新たな着想でプログラミングをしました。これまでクラシック作品に出来るだけこだわって来ましたが、本年はセミクラシックに挑戦します！イギリスの作曲家G.ホルストが作曲した「木星」に詩を添え、見事に歌い上げた平原綾香さんの「ジュピター」です！個人的には平原さんとの共演もあり、ご本人にも「合唱とオケで取り上げる」と伝えてあります！

原作は近代音楽を代表する組曲『惑星』。その中でも最も人気の高い曲が、本日演奏する「木星」(ジュピター)です。本作の『惑星』とは天体を指すものではなく、占星術から着想されたものであり、天文学ではありません。従って組曲には「地球」は出てきません。実は邦題が『惑星』と訳されてしまいましたが、本来は『運星』に近いそうです。また作品についてホルスト自身が次の様に語っています。「木星は一般的な意味において喜びをもたらすと同時に、宗教的、国民的なお祭りに関連のある式典的な喜びを。」と。

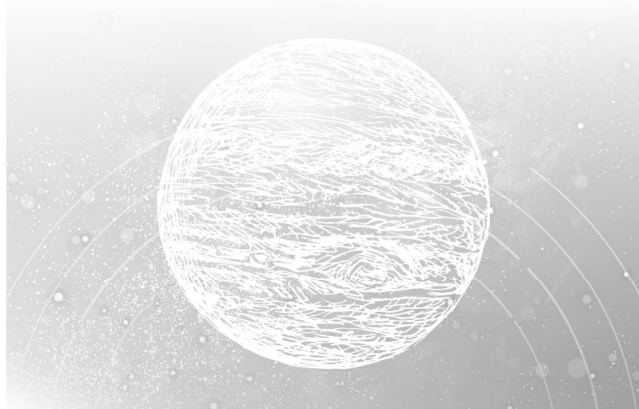
これを機に、原作の『惑星』も是非聴いて戴きたいと思えます。いずれ、春日井市交響楽団でも取り上げたいナンバーです。

グスターヴ・ホルスト作曲

組曲『惑星』作品32

- 第1曲「火星、戦争をもたらす者」
- 第2曲「金星、平和をもたらす者」
- 第3曲「水星、翼のある使者」
- 第4曲「木星、快樂をもたらす者」
- 第5曲「土星、老いをもたらす者」
- 第6曲「天王星、魔術師」
- 第7曲「海王星、神秘主義者」

本日はこの「木星」の中間部で演奏される3拍子メロディを4拍子のポップ調にアレンジし、合唱団が歌い上げます。「ひとりじゃない。ありのままですと愛されている。いつまでも歌う！あなたの為に！」私たちのメッセージが皆様の心に届くことを願って。



交響曲 第9番 二短調 作品125「合唱付」

## 悪魔と神の狭間にあるもの…

ベートーヴェンは生涯9つの交響曲を完成させています。その最後に作曲したのが交響曲第九番二短調作品125「合唱付き」、通称「第九」です。日本では年末の風物詩として定着していて、老若男女問わず、この「第九」のメロディに慣れ親しんでいますよね。

さてさて今回は「第九」の調性について少し書いてみます。ベートーヴェンは生涯375曲の作品を書いています、いったい何調を好んで作曲したのでしょうか？短調(暗い曲)のイメージが強いですが、意外にも1位は変ホ長調(明るい曲)で61作品！最初に作曲した作品1も変ホ長調でした。変ホ長調(b3つ)の調性はフリーメイソンに代表される「3」という数字にも関連され、宗教的にも「聖なる三位一体」を表現する高貴な調性としても使用されています。実際、第3楽章の後半部分では変ホ長調のファンファーレが高らかに響き渡ったり、第4楽章でも、Elysium(楽園)へと向かう階段の頂点に変ホ長調を使用しています。ベートーヴェン自身もこの調性に自信があったようです。どうやらベートーヴェンがピアノに手を置いたとき、一番しっくりくる手の形が変ホ長調だったという説も！では「第九」で用いられている二短調は何曲書いた？…なんと3曲だけ！何故生涯を通してあまり使わなかった二短調をこの「第九」に用いたのでしょうか…。

ベートーヴェンは交響曲第五番、通称:運命で【暗から明】という手法を確立しました。暗い調性から始めて明るい調性で終わる。第五番ではハ短調で始まりハ長調で終わります。この手法はのちの作曲家たちに大きな影響を与えたと言われています。【苦悩から歓喜へ】、まさしく「第九」の構造もこの手法を用いています。では、何故あまり使用しなかった二短調でこの手法を用いたのでしょうか？

前述の変ホ長調もそうですが、それぞれの調性には調の持つ「性格」があります。「第九」に用いられた二短調はドイツ語でd-moll。この言葉の響きはDamon(悪魔)を連想させます。そして最後に用いた調性は二長調D-dur。この言葉の響きは…Deus(ラテン語由来)です。そう「神」となるのです。ベートーヴェンがこの交響曲で用いた調性は【悪魔から神】への調性なのです。さらに、この曲の主となる音(モットー)は、二短調・二長調の第3音を除いたレ(D)とラ(A)の2音で構成されています。長調と短調を区別する最も大切な第3音を除いた2つの音です。一楽章の冒頭で最初に強い音が登場するメロディも<レラー>。二楽章冒頭も<レッレレ・ラッララ>。三楽章の主題も<レラー>から始まります。もちろん四楽章も。全ての楽章に於いて始まりと終わりが、この2音で作られているのです！しかし、このレとラの2音だけでは長調とも短調とも判別が付かず、その不安定さから「空虚5度」とも呼ばれています。実はここにこそヒントがあるのです！つまり…悪魔(二短調)でも神(二長調)でもない狭間…それこそ「人類」という存在をベートーヴェンは暗示していたのかも知れません。この「第九」がこれほどまでに親しまれているのは「人類愛」に満ち溢れていたからに他なりません。改めて「第九」の凄さを実感できる、本当に素晴らしい調性なのです。

私たちにとって慣れ親しんだ「第九」ですが、たまには違った視点から作品を楽しんでみるのも良いですね！本当に奥深い「第九」。何度演奏しても発見の連続。長年続けられるからこそこの「気づき」が春日井にはあります。昨年30年を迎え、本年は新たな第一歩の始まり。皆さんと共に「春日井市民第九」を楽しんで参りましょう！





# 出演者紹介 Profile



## 指揮 井村 誠貴 Masaki Imura

指揮者。1994年大阪音楽大学コントラバス科卒業。在学中よりオペラ指揮者として各地で研鑽を積む。オペラレパートリーは50演目を超え、中でも喜歌劇楽友協会における「シュトラウスII「ウィーン気質」の邦人初演は注目を集めた。2001年イタリアに留学。現地ではAs. Li. Coの北イタリア・オペラ公演ツアーに同行し、副指揮者として高い評価を得た。2013年には年間オペラ公演回数が日本人第1位になる。管弦楽では、京都フィルハーモニー室内合奏団、大阪交響楽団、オペラハウス管弦楽団、京都市交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団等を客演。さらにOsaka Shion Wind Orchestra(旧大阪市音楽団)、シエナ・ウィンド・オーケストラ等の吹奏楽団との関係も深くその分野でも注目を集めている。ミュージカルでは「レ・ミゼラブル」「マイ・フェアレディ」「ラ・カーージュ・オ・フォール」等のロングラン公演を指揮。また、岩崎宏美や、南こうせつ、夏川りみとの共演や、キダ・タローとのコンサートも話題となっている。2014年には、自身の企画により「ベートーヴェン振るマラソン」と題して、1日でベートーヴェンの全交響曲を1人で指揮。そのギネス級の活動は大きな話題となった。2011年東日本大震災を受け、毎年チャリティコンサートを開催。9回の演奏会で5,400万円を超える義援金を届けた。指揮を湯浅勇治氏をはじめ、松尾葉子、広上淳一、辻井清幸の各氏に師事。現在、オーケストラMFI指揮者。春日井市民第九演奏会音楽監督、関西音楽人のちから「集」代表。



## ソプラノ 飯田みち代 Michiyo Tida

日本を代表するソプラノ歌手。その演奏歴は枚挙の暇なく、日生劇場と二期会周年記念オペラ「ルル」「メデア」「アイナダマール」びわ湖ホール周年記念オペラ「死の都」サントリーホール周年記念オペラ「パン屋大襲撃」その他「椿姫」「愛の妙薬」「セヴィリアの理髪師」「ねじの回転」「ヘンゼルとグレーテル」等数々主演、高い評価を受け公演の芸術大賞受賞に寄与。イタリア、ドイツ、フランス、オーストリア、ハンガリー、イスラエル、アメリカにてソリストとして招かれ国際的にも活躍。「題名のない音楽会」等のテレビ出演の他、「音楽の友」誌上で世界のディーヴァベスト100に選ばれ、「陰陽自在な発声で多層の女性像を魅力的に描き出す驚くべき才能」(音楽現代誌)と絶賛された。京都大学卒業、愛知県芸術選奨受賞他受賞多数、春日井市広報大使。



## アルト 相可 佐代子 Sayoko Oka

名古屋音楽大学声楽科卒業、同大学院修了。2001年パリ市立シャトレ劇場研修生として渡仏。同劇場において歌曲リサイタル他、パリ・アテネ劇場や音楽祭にも出演。劇場研修後、エコール・ノルマル音楽院よりルーセル奨学金、ベスティギ奨学金を得て研鑽。高等演奏家ディプロムを審査員満場一致で取得。帰国後も「カルメン」(タイトルロール)など多数のオペラに出演。ベートーヴェン「交響曲第九番」「ミサソレムニス」マーラー「交響曲第三番」等のソリストも数多く務める。京都市立芸術大学、名古屋音楽大学、愛知県立芸術大学で後進の指導にもあたる。NHK-FM「名曲リサイタル」出演。2012年津市文化奨励賞。ソロリサイタルにおいて、2014年名古屋音楽ベンクラブ賞、2010年、2018年には名古屋市民芸術祭受賞。CBCクラブ会員。



## テノール 安 賜勳 Johannes Sahoon Johannes An

ソウル大学卒業。ドイツ、トロツィンゲン国立音楽大学卒業。ドイツ国家演奏家資格取得。ヴァルセミア国際声楽コンクール(イタリア)歌曲部門1位。オリエント・ヴォーカル国際歌曲コンクール(オランダ)1位など、韓米コンクール銀賞など国際コンクールで入賞。ペルララダ音楽祭(スペイン)、セイジオザワ松本フェスティバル(日本)、メッケルブルグ・フォーポメルン音楽祭(ドイツ)に出演。16年間ドイツ国立歌劇場で「魔笛」(タミーノ)「ラ・ボエーム」(ロドルフォ)「ファウスト」(ファウスト)「トスカ」(カヴァラドッシ)「トゥーランドット」(カラフ)などの主役を務める。ドイツ、カッセル市の芸術家賞を受賞。名古屋で「椿姫」「ホフマン物語」「あしたの瞳」に出演。現在、名古屋芸術大学非常勤講師、フィデール室内オーケストラ指揮者。



## バリトン 榎 貴志 Takashi Masu

大阪音楽大学声楽科を卒業。新国立劇場オペラ研修所第5期生修了。第27回奏楽堂日本歌曲コンクール第1位。第23回五鳥記念文化賞オペラ部門新人賞受賞。第30回坂井時忠音楽賞受賞。新国立劇場、小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクト、佐渡裕プロデュースオペラ、日生劇場等の国内の主要オペラプロジェクトに出演する他、ヴァチカン国際音楽祭2018(サン・ピエトロ大聖堂)において、ヴェルディ「レクイエム」バスソロを演奏する。NHK-FM「名曲リサイタル」「リサイタル・ノヴァ」テレビ朝日「題名のない音楽会」等、メディアへの出演も重ねている。東京二期会会員。堺シティオペラ副理事長。



## 客演コンサートマスター 平光 真弥 Shinya Hiramitsu

愛知県立芸術大学音楽学部を経て同大学大学院音楽研究科修了。中村桃子賞受賞。ヴァイオリンを青山泰宏、大久保ナオミ、福本泰之、Ewald Danel、岡山芳子の各氏に師事。指揮を故紙谷一衛氏に師事。第11回日本クラシック音楽コンクール第3位。第1回宗次ホール弦楽四重奏コンクール第1位。併せて聴衆賞、オーナー賞獲得。2007年、2010年及び2012年小淵沢室内楽セミナーにて最優秀カルテットとして「緑の風 音楽賞」受賞。2012年には講師特別賞を同時受賞。2000年～岐阜管弦楽団、2004年～2021年愛知室内オーケストラコンサートマスター、2022年4月～中部フィルハーモニー交響楽団首席客演コンサートマスターを務める。愛知県立芸術大学非常勤講師。平成29年度愛知県芸術文化選奨受賞。



## 合唱指導 松下 伸也 Shinya Matsushita



## 合唱指導 西畑 佳澄 Kasumi Nishihata

ピアノ伴奏 竹内 理恵 近藤 杏美 奥村 明子  
管弦楽指導 長縄 洋



## < 歓喜の歌 >

作詞：なかにし 礼

1. 愛こそ歓喜にみちびく光  
さえぎる苦難を越えて進まん  
歓喜の頂いただき踏みしめた時  
我らは兄弟世界は一つ  
歓喜の頂いただき踏みしめた時  
我らは兄弟世界は一つ
2. 気けだか高き乙女を勝ち得たものよ  
手を取り歓呼かんこの叫びをあげよ  
人間一人で何が出来よう  
愛なき孤独の人は立ち去れ  
人間一人で何が出来よう  
愛なき孤独の人は立ち去れ

許諾番号：2306791-301

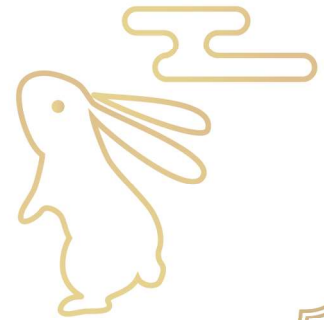
## ふるさと < 故郷 >

作詞：高野 辰之  
作曲：岡野 貞一  
編曲：北川 文雄  
井村 誠貴

うさぎお                      こぶな つ  
兔追いし    かの山    小鮒釣りし    かの川  
夢は今もめぐりて    忘れがたき    ふるさと

いか                              つつがな                      ともがき  
如何にいます    父母    恙無しや    友垣  
雨に風につけても    思い出ずる    ふるさと

こころざし  
志を    果たして    いつの日にか    帰らん  
山はあおきふるさと    水は清き    ふるさと



アンケートにご協力を  
お願いします。